

みずほCustomer Desk Report 2022/07/26号(As of 2022/07/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.64 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.35	1.0200	139.10	1.1980	0.6904
SYD-NY High	136.78	1.0258	140.07	1.2085	0.6965
SYD-NY Low	135.89	1.0179	138.81	1.1962	0.6878
NY 5:00 PM	136.65	1.0219	139.67	1.2051	0.6957

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,990.04	90.75	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	11,782.67	▲ 51.45	日本10年債	0.2000%	▲0.0200%
S&P	3,966.84	5.21	米国2年債	3.0171%	0.0471%
日経平均	27,699.25	▲ 215.41	米国5年債	2.8877%	0.0412%
TOPIX	1,943.21	▲ 12.76	米国10年債	2.8060%	0.0538%
シカゴ日経先物	27,780.00	115.00	独10年債	1.0275%	0.0075%
ロンドンFT	7,306.30	29.93	英10年債	1.9325%	▲0.0040%
DAX	13,210.32	▲ 43.36	豪10年債	3.3670%	▲0.1060%
ハンセン指数	20,562.94	▲ 46.20	USDJPY 1M Vol	10.81%	▲0.19%
上海総合	3,250.39	▲ 19.59	USDJPY 3M Vol	10.73%	▲0.22%
NY金	1,719.10	▲ 8.30	USDJPY 6M Vol	10.70%	▲0.23%
WTI	96.70	2.00	USDJPY 1M 25RR	▲1.11%	Yen Call Over
CRB指数	284.76	3.60	EURJPY 3M Vol	12.80%	▲0.26%
ドルインデックス	106.48	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	12.70%	▲0.24%

東京	東京時間のドル円は136.35レベルでオープン。日柄5・10日における実需ドル買いフローにサポートされ仲値にかけ上昇し、136.62を付ける。もっとも、仲値で買い一巡しその後は新規手掛かりに欠ける中136円前半まで下落。日経平均の下げ幅拡大を眺めドル円は一時136円割れの135.89まで下落する場面があるも、135円後半での押し目も確りで即反発。結局136.40レベルまで戻して海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は136.40レベルでオープンし、手掛かり材料難で小動きに終始。約20銭のレンジで売りと買いが交錯し、136.61レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	週明けのドル円は、先週末の米PMI結果を受けたドル売りが継続したことから、海外市場で135.89まで下落するが、その後は円売りが優勢となり、136.61レベルでNYオープン。朝方はユーロドルが堅調に推移する中、ドル円は上値を重くするが、ロシアがノードストリーム1のもう1基のエンジンを止めると発表し、ユーロ円が急落する動きにドル円も136.42まで下押しするが、ユーロドルが下落する動きに136.78まで戻す。午後はFOMCを水曜に控え、様子見から閑散な取引が続く136.65レベルでクローズした。一方、独7月IFOが期待指数が低下したことから予想を下回り、IFOもドイツはリセッションの入り口にいるとの見方を示しユーロは1.0179まで下落するが、悪い結果は織り込み済みとの見方から、その後は金曜の米PMI結果が蒸し返され急速に買い戻され1.0258まで戻し、1.0230レベルでNYオープン。朝方は再び1.0255まで戻すが、ノードストリーム1による供給を27日から更に削減し、20%の稼働率となることを発表し、欧州のエネルギー不足懸念から1.0204まで急落する。午後は水曜のFOMCを控え1.0220付近での推移が続き、1.0219レベルでクローズした。

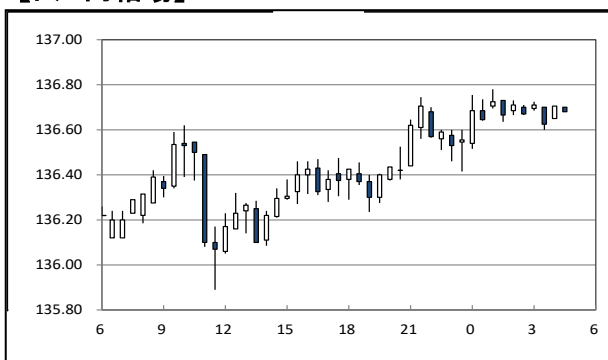
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月25日	17:00	独 IFO企業景況感指数	7月 88.6	90.1
	17:00	独 IFO現況指数	7月 97.7	97.5
	17:00	独 IFO期待指数	7月 80.3	83.0
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	6月 -0.19	0.00
	23:30	米 ダラス連銀製造業活動指数	7月 -22.6	-18.5

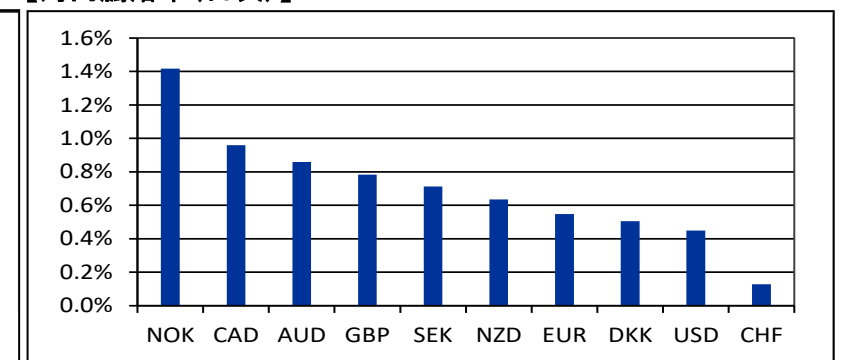
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月26日	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	7月 97	98.7
	23:00	米 新築住宅販売件数	6月 659k	696k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.70-137.30	1.0150-1.0300	138.60-140.20

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は136.35レベルでオープン。実需のドル買いから仲値にかけては136.62まで上昇したものの、買い一巡後は日経平均株価の下落を眺め135.89まで下落した。「ロシアがノードストリーム1のもう1基のエンジンを止める」との発表を受け、米国時間にユーロドルが下落する動きにドル円は136.78まで上昇したが、その後はFOMCを控えた様子見ムードから狭いレンジで推移し136.65レベルでクローズ。本日は米7月コンファレンスボード消費者信頼感、米6月新築住宅販売件数の発表を控えており、市場予想を下回る結果となればドル円の下押し圧力となりうるが、金融引き締めに伴う米消費者センチメント、住宅市場の悪化は市場で既に織り込まれている見方もあり米経済指標の冴えない結果にも市場の反応は限定的か。引続き日米金融政策の違いが意識されドル円は底堅く推移すると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・西